

		科目コード	106
科目名	生涯教育学特論 (Advanced Study of Lifelong Education for Specialist)	選択区分	選択
単位数 (時間)	2単位 (30時間)	履修時期	1前
担当者	野本 百合子・仲渡 江美		
授業概要	<p>成人への生涯教育の基盤となる「成人教育学 (Andragogy)」や専門職者への教育に関連する知識を教授する。また、職場の人材育成や学生指導のあり方を「成人教育学」や専門職教育の知識を活用し、教育的実践を提案、討議する機会を提供する。〔野本担当〕</p> <p>青年期以降の発達段階や発達課題、学習過程について、具体的かつ体系的に理解することを目指す。また、人間の学習行動とワークコミットメントとの関係、キャリア発達とメンタルヘルスについて、ディスカッションを交えながら展開し、理解を深める学びにつなげていく。〔仲渡担当〕</p>		
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「成人教育学」とその対象者の特徴を述べる。 2. 従来の「教育学」と「成人教育学」の相違点を述べる。 3. 1.2. の学習成果に基づき、成人及び専門職への教育について自らの意見を述べる。 4. 青年期以降の発達の特徵と、学習の仕方について文献を通して学ぶ。 5. ワークライフバランスや職業人としての精神的健康のあり方について、自らの考えを述べることができる。 		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	「成人教育学」の理解	「成人教育学」とは何か - その対象と方法	野本百合子
2		専門職者への教育 - 専門職の特徴と人材育成	
3	「成人教育学」の関連文献 講読	Malcolm S. Knowles 著「成人教育の現代的実践」の講読 - プレゼンテーションと討議	
4			
5	専門職者への教育	専門職者への教育に関連する文献講読 - 所属組織等での教育を考える	
6			
7	まとめ	成人への教育の現状分析と改善策の検討 まとめ	
8	人間の発達と学習	発達理論の概観	仲渡江美
9			
10	青年期・成人期・老年期の 発達と学習の特徴	発達心理学研究における論文の講読および発表を通して、 青年期以降の発達と学習の特徴をつかむ	
11			
12	学習観の変遷	学習心理学・認知心理学・状況的学習理論・協同学習の立場 から人間の学習過程について学ぶ	
13	学習を支えるメカニズム	自己効力感・メタ認知の事例から学ぶ	
14	職場の中での学習	ワークコミットメント理論について	
15		キャリア発達・職業教育とジェンダー・セクシャリティ	
成績評価方法		課題レポート 50%、プレゼンテーション 50%で評価する (配点: 野本 50 点、仲渡: 50 点)。	
必携あるいは 参考図書・文献		<p>必携図書 ・Malcom S. Knowles (堀薫夫他): 成人教育の現代的実践 - ペダゴジーからアンドラゴジーへ、 鳳書房 参考文献 ・Malcom S. Knowles: The Adult Learner, 7th Ed.: The Definitive Classic in Adult Education and Human Resource Development, Butterworth-Heinemann</p>	
備 考			